

第 5 次 柏原市 総合計画

基本構想

検討案 1

第1章

まちの将来像

～2030年柏原市が目指す「まち」のすがた～

1 これからのまちづくりの方向性

近年においては、局地的大雨の頻発、大型の台風接近や発生の可能性が高まっているとされる地震など大規模な自然災害リスクに加えて、新型コロナウイルス感染症などの感染症リスクによって、私たちを取り巻く環境は大きく変化しており、これらの変化に的確に対応し、市民が安全・安心・健やかに暮らすことができるまちづくりが必要となっています。

さらに、全国的な課題でもある人口減少・少子高齢化をはじめとする、社会環境の変化の中で、利便性や快適性の向上を図るまちづくりはもちろんのこと、柏原市の持つ魅力である自然、産業、歴史、文化を活かし、多くの人が集い交流する、活力あるまちづくり、多様なライフスタイルや考え方を持つ市民が共に笑顔で暮らせるまちづくり、柏原市に愛着や誇りを持ち暮らし続けられるまちづくりも必要となっています。

また、2030年までの世界共通の目標であるSDGs（持続可能な開発目標）の理念等の達成は、柏原市におけるまちづくりが目指す方向性と同じであると考えられることから、その一体的な推進に取り組んでいきます。

2 2030年 まちの将来像

これからのまちづくりの方向性と「第5次柏原市総合計画策定に係る市民アンケート」や「“柏原市の未来”を考える市民ワークショップ」などを踏まえて、2030年に実現すべき柏原市の将来像を次のとおり定めます。

－ 2030年 まちの将来像 －

選ばれるまち柏原

～豊かな自然 伝統ある産業 歴史に学び

みんな住みよい 笑顔の玉手箱 かしわら 柏笑～

選ばれるまち柏原

…2030年の柏原市が「住む」、「働く」、「学ぶ」、「訪問する」、「応援する」など、関わりを持つ場所として多くの方から「選ばれる」、「選び続けられる」まちとなることを表現しています。

豊かな自然 伝統ある産業 歴史に学び

かしわら

みんな住みよい 笑顔の玉手箱 柏笑

…柏原市の地域資源である「豊かな自然」、「伝統ある産業」、「歴史」、「学び（教育）」などを活かして、様々な世代の市民が安心、安全、便利で快適に住むことができるまちを作り、笑顔があふれる「美しいもの（玉手箱）＝柏原市」となることを表現しています。

そして「柏笑」は、「柏原」市に関わる人全てに「笑顔」があふれるまちを表す言葉として、「原」と「笑」の読みが同じことに掛けた造語です。

なお、「豊かな自然」は生駒山系の山々や大和川や石川などを意味していて、この自然環境を守っていくことも意味しており、「伝統ある産業」は一般的な伝統産業、地場産業だけでなく、古くから柏原市に立地している産業全体を指しています。

また、「歴史に学び」は「歴史」から「学ぶ」という意味と「歴史」と「学び（教育）」の両方の意味を示しています。

【「柏笑」の記載方法についての別案】

(第1－2案)

かしわら

みんな住みよい 笑顔の玉手箱 柏☆笑

(第1－3案)

かしわら

みんな住みよい 笑顔の玉手箱 柏・笑

第2章 まちづくりの目標

2030年 まちの将来像の実現に向けて、次の5つの目標を掲げて政策を推進します。
各目標に関わるまちづくり分野は、主たる目標に分類していますが、その他の目標にも結び付いています。



◇防災 ◇防犯 ◇交通安全 ◇医療体制 ◇健康づくり ◇地域福祉
◇子育て支援 ◇障害者福祉 ◇高齢者福祉

- 市民が主体的に健康づくりを行い、いつまでも元気に暮らすことのできる保健や医療の体制が整備されたまちを目指します。
- 市民が互いに助け合い、子どもや高齢者、障害のある方も、生涯を通じて安心して暮らせるまちを目指します。
- 風水害、地震など自然災害への対策を含めた総合的な危機管理体制の強化を進め、市民との協働により災害に強い強靱なまちを目指します。
- 防犯、交通安全、消防・救急など、市民の生命・財産を守るための体制整備を進め、安全・安心なまちを目指します。



◇自然環境 ◇生活環境 ◇環境保全 ◇農業 ◇商業 ◇工業 ◇歴史・文化

- 水辺や森林などの自然環境の保全と生活環境の向上に取り組み、地球にやさしいまちを目指します。
- 自然環境、歴史・文化資源や各種産業資源等の豊かな地域資源を組み合わせ活用することにより、ブランド力の強化・向上による魅力あるまちを目指します。
- まちのPR強化により関係・交流人口の増加と産業の活性化を図り、活力あるまちを目指します。

目標 3

利便性と快適性の高い住みよいまち



◇土地利用 ◇公園・緑地 ◇都市景観 ◇上水道 ◇下水道 ◇道路 ◇公共交通

- 快適に暮らせる生活空間の形成に向けて、社会基盤の整備と維持に取り組み、市民が暮らしやすいまちを目指します。
- 自然環境と調和した都市景観が形成されたまちを目指します。
- 利便性と安全性の高い交通基盤の整備に取り組み、快適なまちを目指します。

目標 4

やさしさと思いやりを育むまち



◇学校教育 ◇青少年健全育成 ◇生涯学習 ◇国際交流
◇人権・男女共同参画 ◇コミュニティ

- 子どもを取り巻く教育環境の充実に加え、世代間の交流と地域社会の見守りの中で他者へのやさしさや思いやりを育むまちを目指します。
- 生涯にわたる学びの機会があり、生きがいを持って暮らせるまちを目指します。
- 柏原市に関わる人全てがお互いを尊重し、出会いと交流を大切にするまちを目指します。

目標 5

みんなでつくる暮らし続けられるまち



◇市政運営 ◇行財政運営 ◇協働・市政参加

- 行政経営の視点から効率的・効果的な行政運営と安定的な財政運営を行い、将来にわたり持続可能なまちを目指します。
- 市民が主体的にまちづくりへ参画、協働するまちを目指します。
- SDGsなどの目標に積極的に取り組み、市民であることを誇りに思えるまちを目指します。

第3章 まちづくり施策体系

2030年 まちの将来像の実現に向けた目標・分野の体系は次のとおりです。
各目標のまちづくり分野は主たる目標に分類していますが、その他の目標にも結び付いています。

